

「近代日本の水墨画」展



瀟灑瀟灑の千変万化、墨に五彩あり。

日本の美術史の中で最も多彩な表現手段として、墨と水だけで描かれた水墨画は、現代美術の中心として、海外でも高く評価されています。色彩を超越した表現力と、奥深い美意識によって、現代アート界でも注目を集めています。

2004年 5月29日(土) ▶ 7月25日(日)

同時展示「瀟灑瀟灑の絵本」の原画展～おとぎ話ばなし～

講談社野間記念館

Kōdansha Yonekura Memorial Museum

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112
E-MAIL:info@yonekura-museum.jp

野間記念館 展示の予定

夏季展 (5/29~7/25)

- 第1展示室 近代日本の水墨画 I
- 第2展示室 近代日本の水墨画 II
- 第3展示室 近代日本の水墨画 III
- 第4展示室 「講談社の絵本」原画展

秋季展 (9/4~10/17)

- 第1展示室 四季礼賛展その④「秋景」I
- 第2展示室 四季礼賛展その④「秋景」II
- 第3展示室 “ 「秋景」III
- 第4展示室 誌上の光彩～
「創刊90年記念『少年倶楽部』の付録」展

冬季展 (10/23~12/19)

- 第1～第4展示室
講談社野間記念館特別企画展示
『村上春樹の世界』展

新春展 (1/15~3/13)

- 第1展示室 近代日本の風景画I
- 第2展示室 近代日本の風景画II
- 第3展示室 近代日本の風景画III
- 第4展示室 誌上の光彩～
「創刊80年記念『キング』の特別付録
『明治大帝』と『明治大正昭和大陸雄』展



講談社野間記念館

明治、大正、昭和にわたり新しい日本画の創造に大きな役割を果たした嶺山大師は、水墨画について「墨に五彩ありと申しますが、墨はただ一色でありながら、その中には濃淡滲潤の千変万化があり、これが色彩以上の複雑さを表しまして、色彩を超越したる實在感を端的に数々に表現するのであります。」と語っています。近代の日本画家たちは、新しい日本画の創造を目指して様々な試みを積みつつ、必ずと言って良いほど伝統的な素材である墨とその技法に心ひかれ、水墨画に取り組み姿勢を見せています。洋画家の小杉放庵は、後に水墨の世界に魅せられて独特の画が世界を築き上げていきます。はじめ洋画を学んだ川端龍子も、日本画に転じて水墨画と金泥の大胆な組み合わせで斬新な画道を構成してきました。今回は、野間コレクションの中から私たちが魅了する、奥深い水墨画の佳作を厳選して展示いたします。

